



ユーザーズマニュアル



株式会社マキエンタープライズ

Mail GoGoGo をご利用頂く前にお読みください

ライセンスと責任の範囲

MailGoGoGo コンピュータープログラムは以下のライセンス条件をご承諾いただくことによりご利用いただけます。

MailGoGoGo ソフトウェア、および本マニュアル(以下、それら全てを総称して製品と呼ぶ)は、株式会社マキエンタープライズの著作物として登録されています。ご利用者は一台のコンピューターでのみ製品を使用することができます。株式会社マキエンタープライズの書面による事前の同意なしでは、製品の一部または全部をソフトウェアの通常使用の目的以外には複製することはできません。製品には商業的機密が含まれており、ご利用に際して機密を故意に漏洩することは許されません。複製には他言語への翻訳、異なる媒体への転送、書式変更、解析行為が含まれます。

本ライセンスは廃棄されるまで有効とします。ご利用者がライセンス条件に不誠実な行為を行った時点でライセンスは予告無く廃棄されます。また、製品を破壊することでライセンスを廃棄することができます。

株式会社マキエンタープライズは製品の用途を問わず使用、特性に関して一切の情報提供、明示または黙示の品質、性能の保証を行いません。製品は、あるがままの仕様、能力で販売されたものであり、製品の品質、仕様、性能に関する全責任はご利用者が負担するものとします。理由の如何を問わず、また、その内容に係わらず製品の使用の結果に対して株式会社マキエンタープライズは一切の責を負いません。また、製品の欠陥の結果発生するあらゆる損害および、結果から派生する費用に関して一切の責を負いません。株式会社マキエンタープライズ、株式会社マキエンタープライズの販売店およびその社員は本保証範囲に関し、あらゆる修正、追加、拡大解釈などを行うことはできません。

本マニュアルに記載の他社製品、他社商品名は参照を目的としたもので、使用の推奨、強制を目的としたものではありません。

他社製品、他社商品名はそれぞれの商標、トレードマークです。

©1998-99 MAKI Enterprise Inc.

目次

はじめに	4
MailGoGoGo の概要	5
MailGoGoGo のインストール	6
MailGoGoGo のご登録方法	8
MailGoGoGo の利用方法	9
MailGoGoGo の便利な使い方	10
MailGoGoGo の設定	11
メールアドレスの設定	11
動作モードの設定	12
検査モードの設定	13
オプション設定	14
自動検査通知の設定	14
手動検査報告の設定	15
連動オプション	15
判定条件設定	16
判定基準	17
判定処理	18
受信容認リスト	20
受信拒否リスト	21
アドレス帳の読み込み方法	22
受信容認リストの利用上の注意	23
作業記録	25
電子メールソフトの設定	25
メール保存について	25
定期的な着信確認の設定	25
MailGoGoGo の排除能力について	25
メソッドについて	26
匿名メール、無料メールについて	27
APOP Server	28
トラブルシューティング	28

1 はじめに

この度は MailGoGoGo をご採用いただきありがとうございました。

MailGoGoGo demoを十分お試しいただくために、ご利用前にこのマニュアルをお読みください。

MailGoGoGo オンライン版はパッケージ費用、流通コストを削減するため、WEB販売を行っているバージョンですが、機能については製品版とまったく同じです。

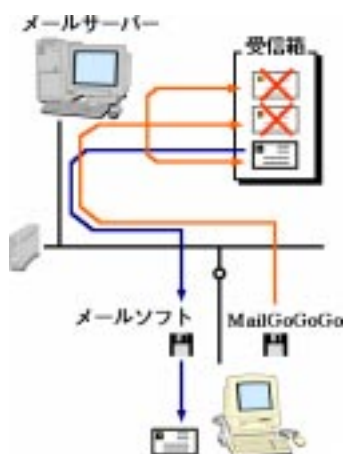
ご利用にあたってはインストール後に、シリアル番号をタイプいただく必要がありますが、一度登録すると以降、継続してご利用いただけるようになります。

また、弊WEBサイト(<http://www.makie.com>)では各種関連情報を公開しています。不定期ではありますが更新を行っていますので、定期的にチェックいただく事をお勧め申し上げます。

株式会社マキエンタープライズ
〒778-0000
徳島県阿波池田郵便局私書箱 6 号
Tel 0883 72 5452 Fax 0883 72 6380
URL www.makie.com (Japanese)
URL www.makienterprise.com (English)

2 MailGoGoGo の概要

MailGoGoGoは迷惑な電子メールをメールサーバーから削除し、必要なメールだけを受信する快適な電子メール環境を提供します。不要なメールを受信して、不愉快な思いをすることがなくなります。



図はMailGoGoGoの働きをイメージしたものです。送られて来た電子メールはメールサーバー内のクライアント毎の受信箱に貯えられます。メールソフトで着信確認を行うとその内容を受信することができます。

MailGoGoGo はメールサーバー上のメールの必要不必要の判定を行い、不必要なメールを削除しますが、メールの受発信機能はありませんので、ご利用中の電子メールソフトと組み合わせて使用します。

また、電子メールソフトでメールチェックをした後からではMailGoGoGoでのメール検査が行なえませんが、必ず、先に Mail GoGoGo で検査を行ってから電子メールソフトをご利用ください。

MailGoGoGo では以下のような迷惑メールを削除することができます。

マルチ商法メール、不幸の手紙(チェーンメール)、ダイレクトメール、デマメール、メール爆弾、勧誘メール、匿名メール、いたずらメール、中傷メール、間違いメール、セクハラメール(ナンパメール)

さらに、特定の相手からのメールの受信拒否や指定された相手からのみの受信を行うことも可能です。

一層快適な電子メールのご利用にMailGoGoGoを十分にご活用いただきますようお願い申し上げます。

3 MailGoGoGo のインストール

MailGoGoGo を利用いただける環境

Macintosh version :

MacOS 7.5.5 以降で電子メールが利用可能な環境。

MacTCP 2.0.6 以降または Open Transport 1.1.1 以降がインストールされていること。

2MB のハードディスク空容量

Windows version :

Windows95 または Windows 98 で電子メールが利用可能な環境。

2MB のハードディスク空容量

MailGoGoGo のインストール手順



MailGoGoGo フォルダ内の「MGGG Installer」をダブルクリックします。
これで、必要なファイルが自動的に起動システムに組み込まれます。
インストールされるファイルと場所は以下の通りです。

Macintosh version :

MGGG Extension

機能拡張フォルダ

Mail GoGoGo

アップルメニューフォルダ

MGGG Staffs フォルダ

システムフォルダ

Windows version :

MGGG フォルダ

Programs フォルダ

MailGoGoGo.exe

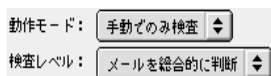
Startup フォルダ

初めに、Mail GoGoGoの基本設定ウインドウで、メール検査を行うアカウントとパスワードの部分タイプします。

POP3メールアカウント、またはメールアカウントIDとパスワードをタイプして下さい。(メールソフトに使用しているのと同じアカウントとパスワード)



動作モードは「手動でのみ検査」を選び、検査レベルは「メールを総合的に判断」を選びます。基本設定ウインドウのクローズボックスをクリックして、変更を保存して下さい。



(Macintosh version)



(Windows version)

続いて、設定メニューから「受信容認リスト」を選び、友人、メーリングリストや取引先のメールアドレスを読み込みます。受信容認リストにメール受信頻度の高い人たちのアドレスを登録すると、検査をスキップしますから効率が格段によくなります。

読み込み終わったら、受信容認リストウインドウを閉じ変更を保存します。

これで基本的な設定は終わりです。MailGoGoGoを終了して、リスタートしてください。

MailGoGoGo のご登録方法

マッキントッシュの場合：

インストールが終わると、まず、基本設定ダイアログが表示されますので、8 ページの解説にそってアカウントとパスワードをタイプします。
リスタート後に登録ダイアログが表示されますので、電子メールでお送りした、登録名と登録コードをタイプして下さい。

Windows 95/98 の場合：

インストールが終わると、登録ダイアログが表示されますので、電子メールでお送りした、登録名と登録コードをタイプして下さい。

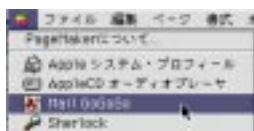
ご注意：

登録の際の、登録者名と登録コードは関連があります。
両方が一致しないと正しく登録されません。

WEB バージョンはご登録されるまで、デモバージョンと同じで、メール削除を行いません。

4 MailGoGoGo の利用方法

1. Macintosh の場合は、アップルメニューから MailGoGoGo を選びます。



Windows の場合は、タスクバーの時計の横に MailGoGoGo アイコンが表示されていますので、ダブルクリックします。



2. 基本設定ウインドウを表示し、右下の検査ボタンをクリックすれば、ネットワーク接続および検査が開始されます。

この時、着信メールの中に迷惑メールがあれば自動的に削除されます。
しばらくして検査が終わると、着信メールの有無や削除されたメール数等がダイアログで表示されます。

3. もし着信メールがあれば、電子メールソフトで従来通りメールチェックを行います。

4. 必要に応じて、ネットワーク接続を切断します。

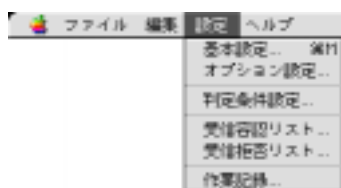
上記のように必ず、MailGoGoGo の検査を行ってからメールチェックを行ってください。逆の手順では正しく検査できません。

5 MailGoGoGo の便利な使い方

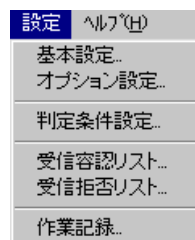
手動で検査を行う場合には、検査の都度、検査ボタンをクリックしますが、自動検査を行わせることも可能です。

例えば、基本設定ウインドウの動作モードで「起動時のみ検査」を選ぶと、コンピュータを起動するごとに検査が行われるようになります。

また、基本設定ウインドウの動作モードで「 分毎に検査」を選ぶと、定期的な検査が可能になります。この設定はLAN接続の場合のみ利用いただけます。



(Macintosh 版)



(Windows 版)

設定メニューを使って、様々な設定を行うことで、より便利に「MailGoGoGo」を利用することができます。

オプション設定では、着信メールの報告の仕方や着信時にメールソフトを起動させるように設定することができます。

判定条件設定では、検査の対象となるジャンルのオンオフや検査処理の方法を指定することができます。

より詳しい解説は「MailGoGoGo の設定」の章を参照の上、ご利用環境に最適な設定を行って、MailGoGoGo を御活用ください。

6 MailGoGoGo の設定

メールアドレスの設定



(Macintosh 版)



(Windows 版)

チェックすべき電子メールのメールアカウントを指定します。
図のように、基本設定ウインドウの「アカウント」と「パスワード」の枠の中に
メールアカウントと、パスワードをタイプします。

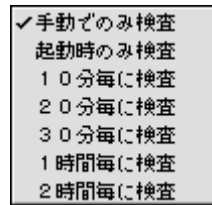
プロバイダー契約されている方は、POP3 メールアカウント、またはメールア
カウントとして固有の ID がプロバイダーから提供されていますから、それをタイ
プして下さい。

社内ネットワークをご利用の場合は、ネットワーク管理者から与えられている
POP3 メールアカウントとご自分のパスワードをタイプします。

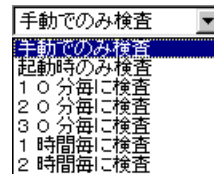


MailGoGoGo は 3 つまでのアドレスを検査することができます。
2 つ以上のメールアドレスをお持ちなら、アカウントの枠の右側にある
アイコンをクリックして別のメールアカウントとパスワードをタイプし
てください。

動作モードの設定



(Macintosh 版)



(Windows 版)

動作モードで、MailGoGoGoをどのように利用するか指定することができます。ルーター、LAN接続の場合はすべての項目が利用できますが、PPP接続の場合（モデム、TA 利用の場合）、図の一定時間毎の検査は行なえません。

マッキントッシュ版のみ：

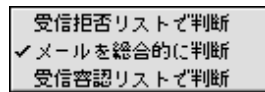
ルーターを使用されている場合で、一定時間毎の検査が選べない時はOpenTransport/PPPが組み込まれたままになっていますので、アップル社のインストーラを使用して削除します。

「手動でのみ検査」を行うには、基本設定ウインドウの「検査」ボタンをクリックして下さい。自動的にメールサーバーの検査が始まります。

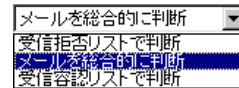
「起動時のみ検査」はコンピュータを起動する毎に検査を行わせる方法です。メールチェックの頻度が多くない場合には便利な機能です。

一定時間毎の検査は指定時間周期で自動検査を行います。このモードでは起動時にまず、検査を行い、それ以降指定時間間隔での検査が行われます。

検査モードの設定



(Macintosh 版)



(Windows 版)

検査モードで MailGoGoGo の検査方法を指定します。

検査モードには3種類の方法が用意されています。

「受信拒否リストで判断」は受信拒否リストにあるアドレスからのメールだけを削除し、それ以外のメールは内容に関わらず受信する、比較的緩やかな制限方法です。「受信容認リストで判断」は受信容認リストにあるアドレスからのメールは受信しますが、それ以外のアドレスからきたメールは全て削除する方法です。これは最も厳しい制限方法です。

「受信拒否リストで判断」、「受信容認リストで判断」はいずれもメールアドレスで判断する方法ですので、効率良く不要なメールを削除できます。

「メールを総合的に判断」は「受信拒否リストで判断」、「受信容認リストで判断」を利用し、さらにメールの文章内容により、不要なメールを自動削除します。通常は「メールを総合的に判断」を選んで下さい。

MailGoGoGo は「メソッド」と呼ばれる拡張ファイルを用いて文章内容を文節毎に文章解析し、その意味を数値化して必要不必要の判定を行います。単語や語句のパターンマッチングではありませんので、正確な判定を効率良く行うことができます。

「メソッド」はいくつかのジャンル毎に用意されていますのでジャンルによって解析をオンオフしたり、将来新しいジャンルのメソッドを追加することも可能になります。

オプション設定



基本設定ウィンドウで、「オプション」ボタンをクリックするか、または、設定メニューから「オプション設定」を選ぶと図のオプションウィンドウが表示されます。

このウィンドウではメール検査後の報告やメールソフトの起動等の設定を行います。

自動検査通知

「自動検査通知」は起動時のメール検査や定期的なメール検査の結果をダイアログで報告するかどうかの設定です。

着信時にはサウンドと、ダイアログによる通知の指定が行なえ、両方を組み合わせて利用することもできます。

また、指定したメールソフトの起動も可能ですが、着信メールがない時は起動しません。

起動するメールソフトは「連動オプション」の「選択」ボタンを押して指定して下さい。

注意：(Macintosh 版のみ)

メールソフト起動はアプリケーションを起動しても、フロントに切り替えることをしません。これはバックグラウンドでメール受信を行わせることで、その時点の作業を中断させないようにする為の仕様です。

手動検査報告

「手動検査報告」は起動時の検査ボタンをクリックして検査を行った場合の検査結果を通知する機能の設定です。

指定したメールソフトの起動も可能ですが、着信メールがない時は起動しません。

起動するメールソフトは「連動オプション」の「選択」ボタンを押して指定して下さい。

連動オプション



(Macintosh 版)



(Windows 版)

「連動オプション」では、メール着信があった場合に起動する電子メールソフトを指定することができます。

「選択」ボタンを押して、起動すべき電子メールソフトを指定して下さい。

「自動検査通知」または「手動検査報告」でメールソフト起動がチェックされている場合で、着信メールがある時、指定されたソフトが起動されます。

Windows 版のみ

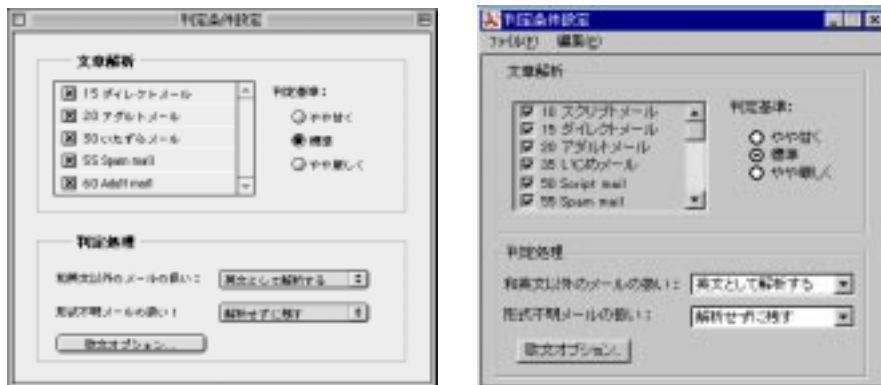
ご利用のメールソフトが起動時のコマンドラインをサポートしているなら、連動オプションのコマンドライン部分に直接、コマンドをタイプして下さい。コマンドラインを指定することで、メールチェックを自動化することができます。コマンドラインで使用するコマンドについてはご利用のメールソフトのマニュアルを参照ください。

マッキントッシュ版のみ

応用として、AppleScript を起動させる方法があります。事前に AppleScript で特定の電子メールソフトを起動して、メールチェックする等のスクリプトを用意してアプリケーション保存しておき、これを連動オプションに指定することで、メールチェックを自動化することができます。

参考フォルダ内に Eudora Pro 用のメールチェックを行わせる AppleScript ファイルと、メールソフトをフロントに切り替える AppleScript ファイルをサンプルとして用意していますので参照ください。

判定条件設定



設定メニューから「判定条件設定」を選ぶと、文章内容による判定を行う際の条件を設定するウインドウが開きます。

このウインドウでは文章解析を行うべきジャンルの指定と、判定基準、およびメールの判定処理方法を指定することができます。

文章解析のリストには現在利用可能な「メソッド」がリストされています。利用するメソッドをチェックし(×マークをつける) 不要なものはチェックを外します。

メソッドには「アダルトメール」のように日本語表示されたものと、「Adult mail」のように英語表示されたものがありますが、それぞれ日本語メール、英語メールに対応したメソッドです。

日本語のメールを受信した場合は自動的に日本語のメソッドだけが使用されます。

通常はすべてのメソッドをチェックして下さい。

判定基準

判定基準:

- ☐ やや甘く
- ☒ 標準
- ☐ やや厳しく

判定基準では、メソッドで解析した結果、必要不必要の判定を行う際の基準値を3段階選ぶことができます。

通常は標準を選びます。

(Macintosh 版)

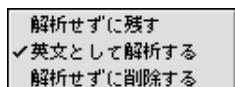
止まらないメールが多い時は、「やや厳しく」でお試ください。

判定基準:

- ☐ やや甘く
- ☒ 標準
- ☐ やや厳しく

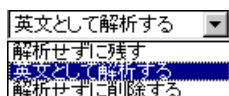
(Windows 版)

判定処理（和英文以外のメールの扱い）



(Macintosh 版)

和英文以外のメール、例えば、フランス語や、ドイツ語のメールを受信した場合、どのように処理すべきかを指定します。



(Windows 版)

電子メールを発信する際、電子メールソフトは自動的にキャラクターセットをヘッダー情報として付加します。

具体的には、英語圏内から、英語版の電子メールソフトを発信した場合でも、文中にアスキーコードにない文字を使用した場合、電子メールソフトによっては自動的に ISO のキャラクタータイプを付加しますから、見かけ上ヨーロッパ言語圏からのメールのように見えてしまいます。

このようなメールの扱いについて、MailGoGoGoは残す、削除する、英語として扱うの 3 つの方法を用意しています。

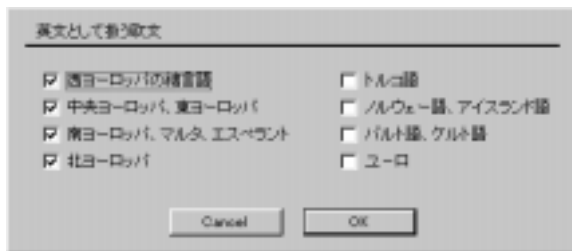
通常は「英文として解析する」を使用ください。

また、「解析せずに残す」、「解析せず'に削除する」を選んだ時、英語以外のすべての外国語属性を持つメールが対象になってしまわないように、MailGoGoGoではあらかじめ、検査を行うべき外国語(欧文)を指定する事ができます。

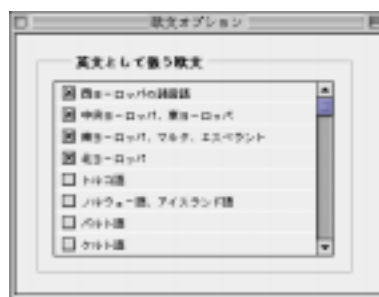
詳しくは、「欧文オプション ...」の項を参照ください。

欧文オプション

「欧文オプション...」ボタンをクリックすると図のダイアログが表示され、検査対象となる言語を含む地域の指定を行う事ができます。



(Windows 版)



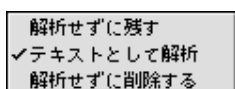
(Macintosh 版)

例えば、メールにスペイン語の単語が含まれていても、検査の対象とするなら、「西ヨーロッパの諸言語」をチェックしておく、スペイン語固有の文字がメールに含まれていても、英語のメールとして検査されるようになります。

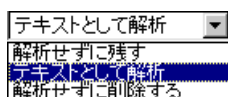
同様に、知人にバルト語を使う人がいないなら、「バルト語」のチェックをはずしておきます。

この機能は Latin Alphabet を使用する外国語の単語が含まれていても検査の対象とするかをきめるのですが、外国語そのものの意味解析を行うものではありません。英語圏からのメールが多い方には重要な機能です。

判定処理（形式不明メールの扱い）



(Macintosh 版)



(Windows 版)

通常のメール形式ではないもの、例えば送信者側の設定が間違っていて、文字化けしたメールであるとか、特殊な方法で送られるメール等（テキスト、マルチパート以外の情報、例えば、サウンド、アニメーション情報等を含むもの）の扱いを指定することができます。

「テキストとして解析」を選ぶと、部分的に文字化けしていても解析を行います。

それ以外に残す、削除するの処理方法が選べます。

通常は「テキストとして解析」を選んで下さい。

受信容認リスト



設定メニューから「受信容認リスト」を選ぶと、図の受信容認リストウインドウが表示されます。

受信容認リストにはメールの内容を問わず、検査なしで受け取る電子メールのメールアドレスを登録します。



友人や購読メール、メーリングリスト、主要な取引先等のアドレスを登録しておくとういでしょう。

登録の方法は、追加ボタンを押して、直接タイプする方法と、電子メールソフトのアドレス帳やテキストファイルから読み込む方法があります。

電子メールソフトのアドレス帳からの読み込みは、Eudora、Eudora Pro、Netscape Navigator、Internet Explorerなどからは直接読み込めます。(バージョンによって直接読み込みできないことがあります)

アドレス帳からの読み込みが利用できない電子メールソフトの場合は、アドレス書き出し機能を使って、一度、テキストファイルに書き出してから読み込みをお試しく下さい。

また、受信容認リストでは、フルアドレスだけでなく、ドメイン名等、部分アドレスも利用いただけます。

例えば、「go.jp」とタイプしておく、日本政府機関からのメールは全て検査せずに受け取ることができます。

同じように、「@mycompany.or.jp」とあれば、そのドメインにメールアカウントを持つ全ての人たちからのメールは無検査になります。

なお、受信容認リストには Macintosh version はおよそ 2000 件、Windows version はおよそ 1500 件の登録が行なえます。

受信拒否リスト



設定メニューから「受信拒否リスト」を選ぶと、図の受信拒否リストウインドウが表示されます。

受信拒否リストにはメールの内容を問わず、強制的に削除する電子メールのメールアドレスを登録します。

登録の方法は、追加ボタンを押して、直接タイプする方法と、テキストファイルから読み込む方法があります。

参考フォルダ内の「匿名メール、リメーラ」ファイルはテキストファイルですので、他のアドレスを登録する際にご参照ください。

受信拒否リストも、フルアドレスだけでなく、ドメイン名等、部分アドレスも利用いただけます。

例えば、「go.jp」とタイプしておく、日本政府機関からのメールは全て削除されます。

同じように、「@mycompany.or.jp」とあれば、そのドメインにメールアカウントを持つ全ての人たちからのメールは削除されてしまいます。

なお、受信拒否リストにはMacintosh versionはおよそ2000件、Windows versionはおよそ1500件の登録が行なえます。

注意：

受信許可リストは常に受信拒否リストより優先されます。

アドレス帳の読み込み方法

すでに利用されている主要なメールプログラムのアドレスブックの情報をMailGoGoGoにImportして利用することができます。

各メールプログラムのアドレス帳の場所が分からない時は、一度、アドレスブックの書出しを行い、そのファイルをMailGoGoGoにImportしてください。

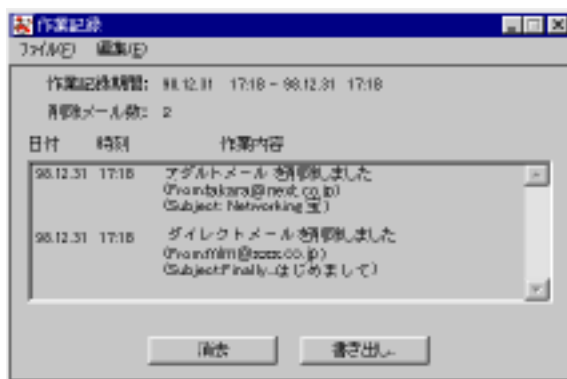
受信容認リストの利用上の注意

受信容認リストに友人や主要な取引先を入れておくことは効率良く検査を行う上で重要なのですが、安易にドメイン名や、部分アドレス等を多用することは避けて下さい。

予想される容認リスト名で「なりすましメール」を送られる可能性が高くなります。

作業記録

基本設定ウインドウで、「作業記録」ボタンをクリックするか、または、設定メニューから「作業記録」を選ぶと図の作業記録ウインドウが表示されます。



このウインドウには削除されたメールの履歴が表示されます。
履歴には削除された日時、ジャンル、発信者、サブジェクト名が日付順に
およそ 150 件分記録されます。

作業記録はテキスト書類として書き出すことができますので、頻繁に迷惑
メールが送られる場合等には定期的にチェックして下さい。

なお、作業記録は消去されませんので、迷惑メールの頻度により、定期的
に削除してください。

7 電子メールソフトの設定

MailGoGoGoをご利用頂く際、電子メールソフトの設定によってはうまく
機能しないことがあります。
ご利用の前に、下記の点をご確認ください。

メール保存について

メール受信後、サーバー上に残さないで、削除するように設定して下さい。
メールがサーバーに残っていてもMailGoGoGoのご利用には問題はありませんが、
自分宛のメールが他の管理下にあるサーバーに残っていることはあまり安全とは言えません。



(Macintosh 版)

定期的な着信確認の設定

ルーター、LAN 接続をご利用の場合、定期的に着信確認をされている方が多いと思いますが、MailGoGoGoをご利用の場合、必ず先にMailGoGoGoがメール検査を行うことが必要ですので、メールソフトの定期的な着信確認を切り、MailGoGoGoの定期的な検査を利用して下さい。

着信メールの確認: 分毎

接続形態:	<input type="text" value="繰り返し接続"/>
接続頻度:	<input type="text" value="10 分毎"/>

(Macintosh 版)

8 MailGoGoGo の排除能力について

MailGoGoGoは複数のアルゴリズムを組み合わせ、迷惑メールを特定し、排除します。しかしながら、完璧な排除をお約束するものではありません。メールによっては迷惑メールを不要と判断できないことがあります。

一般に以下のような場合、判断ミスが起きやすいようです。

短いメール:	文脈による判断材料が少ない為
偽装されたメール:	一般文に見せかけた DM

迷惑メールと一般メールの差異が小さいものも多々ございますので、迷惑メールのおよそ、70 ~ 75%程度を排除目標として設計されています。

株式会社マキエンタープライズでは排除されない迷惑メールでも将来のバージョンアップ等で排除が可能となるよう改良を行って参りますので、排除できない迷惑メールがございましたなら、マキエンタープライズ宛、メールでお送り頂きますようお願い申し上げます。お送り頂きます際には、お手数ですが、メール全文（ヘッダー情報を含む）を本文として、サブジェクト名を「迷惑メール」として下記アドレス宛送付願います。

e-mail xmail@makie.com

9 メソッドについて

MailGoGoGo では日本語、英語のメソッドをいくつかのジャンルに分けて用意しています。メソッドは2つのファイルを対にして使用します。



(Macintosh 版)



(Windows 版)

図は対になった Adult メソッドファイルを示します。

メソッドの組み合わせにより、MailGoGoGo は様々な迷惑メールに対応することができますが、同時に使用できるメソッドは16個までです。

注意：

メソッドファイルは単独では利用できません。所定の位置（MGGO Staffs フォルダ内）から移動させないで下さい。

10 匿名メール、無料メールについて

匿名メールは本来、弱者救済やメールアドレス変更を嫌うユーザーの為のサービスとして利用されていましたが、一部で、スパムメール(迷惑メールの総称)の発信用として利用されているのも事実です。

同様に、無料メールもスパマー(迷惑メール発信者)に多く利用されています。

当初、受信拒否リストにこれらのドメイン名を含めることを検討しましたが、個人で無料メールや匿名メールを利用されている方も少なくありませんし、一律に制限する事には抵抗があり、結局、中止することに致しました。

しかし、迷惑メール、特に米国発信のものについては、かなりの割合で匿名メール、無料メールからの物が含まれています。

(例: hotmail.com、juno.com など)

ついては、国内、および米国の主要な匿名メール、無料メールのリストを用意しています。

シリアル番号をお送りする際、リスト等の資料をダウンロードできるアドレスをご案内申し上げます。

電子メールを個人利用されている方の場合、お知り合いで無料メールを利用されている方もおられると思いますが、ビジネス利用の場合、無料メール、匿名メールからのメールが日常的にあるとは考えにくいので、ビジネス中心で電子メールをご利用の場合は、このリストを、受信拒否リストに取り込んでお試しください。

11 APOP Server

一般的ではありませんが、ご利用のメールサーバーが APOP 方式の場合も MailGoGoGo で検査を行う事ができます。

この場合、APOP サーバーのアドレスが別に用意されていますので、ネットワーク管理者に APOP でアクセスする場合のアドレスを確認して下さい。

MailGoGoGo の設定変更等は必要ありません。

例：

通常のメールサーバーへのアクセス	abc@mail.internet.com
APOP サーバーへのアクセス	abc@apop.mail.internet.com

12 トラブルシューティング

MGGG Installer でインストールができない

Macintosh のみ

MGGG Installer は、ご利用のマッキントッシュに AppleScript が組み込まれていないと動作できません。この場合、手動で「MGGG Staffs」フォルダをシステムフォルダの中に、「MGGG Extension」を機能拡張フォルダの中に、「MailGoGoGo」をアップルメニューフォルダにコピーしてください。

検査ができない。メールサーバーにアクセスできない

ドメイン名に誤りがあれば以下のメッセージが表示されます。

PPP 接続の場合

「メールサーバーに接続できませんでした」

LAN 接続の場合

「メールサーバーにアクセスできませんでした。

つ目のメールサーバーを確認して下さい」

ユーザー名に誤りがある時は次のメッセージが表示されます。

「ユーザーが認証されませんでした。

つ目のメールアドレスを確認して下さい」

パスワードに誤りがある場合は次のメッセージが表示されます。

「パスワードが認証されませんでした。

つ目のアカウントとパスワードを確認して下さい」

一定時間毎の検査の設定ができない

Macintosh 版では、PPP 接続の場合は利用できないようにしています。基本的にはルーター接続、LAN 接続の場合だけご利用ください。

メール数が多いので検査時間が気になる

できるだけ、受信容認リストと、受信拒否リストを充実させて下さい。大量のメール検査もスムーズに行なえます。

メール検査が行われないことがあるようだ

Macintosh 版のみ

メモリーは十分ありますでしょうか。多くのアプリケーションを利用されていて、バックグラウンドで検査を行う場合、メモリ不足の可能性がありますのでご確認ください。

メールサーバーによっては検査が行なえない

まれにメールサーバーソフトのバージョンが古いサーバーがあります。MailGoGoGoを利用頂くにはPOP3以降のプロトコルをサポートしているメールサーバーが必要です。解決するにはネットワーク管理者に御相談ください。

大量のメールを受信した時、検査結果が表示されない

Macintosh 版のみ

メールの量により、大量のメール検査で、検査時間が長くなった場合、タイムアウトで検査結果が表示されないことがあります。タイムアウトが発生した時点でレポートされます。

基本設定の動作状況で見るとメールがカウントされているのにメール検査がされない

MailGoGoGoで検査後、電子メールソフトでメールチェックしなければメールはサーバーに残ったままとなり、再度検査を行わせると検査済みのメールは無視しますから、メールカウントがあるにも関わらず検査されないように見えます。問題はありませんのでご安心を。

必要なメールが削除されてしまった。対策は

申し訳ありませんが、「作業記録」で表示される、相手先メールアドレスとサブジェクト名以外は削除されてしまっています。お手数ですが、先方に再送をお願いし、合せて、受信容認リストに先方のメールアドレスを入れて下さい。



株式会社マキエンタープライズ
徳島県阿波池田郵便局私書箱 6 号
Tel 0883 72 5452 Fax 0883 72